

瓦の歴史あれやこれや

会長コラム

なぜ孫七瓦なの
(第4回 瓦屋根の建築物
に対する努め)

シリーズ1〜3では日本瓦の簡単な歴史、産地と種類(形状等)、品質や規格について述べさせて頂きました。
気象状況および自然災害の観点から、日本建築における外装材の基本性能は、防水性能・耐風圧性能・耐震性能・耐火性能・耐衝撃性能・防火性能等が重要です。
防水性能は根源的機能で、強風を伴う吹き降り雨等で雨漏りを防ぐ機能ですが、この雨漏りは室内に漏る事だけでなく、屋根下地に侵入して天井の湿潤や汚染をおこさない事が大切です。
耐風圧性能は台風などの強風時、地震時などに屋根材が飛散または脱落しない性能です。
(※風圧力、地震力の作用は地域・屋根の高さ・屋根面上の位置などによって異なる場合もあります)
2つの性能について述べましたが、他の性能においてもそれぞれに満たさなければならぬ基準があります。

地球温暖化や世界的な異常気象が言われる昨今、大型台風の本土上陸や、過去に例を見ない豪雨による被害が甚大化する日本では住宅屋根の重要性が特に注目されています。
昨年の台風による千葉県屋根災害を見ても、軽すぎる屋根は屋根全体が飛ばされて屋根が無くなっておりました。屋根瓦が数枚から20枚前後飛んだ被害の家もあれば、一方、一枚の瓦も飛ばされていない屋根もありました。
いつも会社の社員たちに言うのは、このような台風や地震災害が発生した時のニューズ画像をよく見て、屋根がどのような状態で見残っているかを注意深く観察し今後の自分の屋根工事の参考にしなければいけないという事です。
また、天災は起こらないのが良いのは誰でもわかっています。起った時の被害を少しでも小さくする事が私たちの責任であり又、義務でもあると言っております。

前回コラムでは屋根瓦の種類について述べましたが、屋根には適度の重さがある方が建物全体を守る為にも良いことが分かっています。日本では台風などの関係で適度な重量が必要となります。1000年以上の歴史があり、近年では材質的にも意匠的にも色々な種類がある粘土瓦はやはり日本の風土に一番合っていると思います。現在の瓦は昔と比較して2/3〜1/2くらいまで軽くなっています。
私たちは施主様の財産造りを手伝うという考え方で毎日仕事に励んでおります。上質な瓦を現在の施工基準で葺いた屋根が40〜50年持つのは当たり前です。私はどうしても粘度系瓦を薦めてしまいません。セメント系の瓦は軽くてよいのですが、防水が10〜15年しか持ちませんのであえて薦めることは出来ませんでした。
孫七瓦工業の仕事の良さは普段は素人さんには分からないと思いますが、台風や豪雨の時には必ずほかの業者との違いが分かる時があると私は信じています。(※一〜二年前の大阪北部地震や台風のとくのように！)

孫七瓦工業株式会社の 経営理念 II 目的理念

私たちは、日本建築の文化の継承と、伝統を活かした技術革新を通じて社会に貢献します。

行動理念

- 一、私たちは、安全で安心できる快適な住まいのある暮らしを提供します。(科学性)
- 一、私たちは、社会に信頼される会社となり、地域社会の発展に貢献します。(社会性)
- 一、私たちは、共に学び、共に育ち、全社員の幸福を追求します。(人間性)

この経営理念は孫七瓦工業株式会社が継続的・計画的に社会に役立つ企業としての根本的な価値基準です。

取り上げてほしいテーマや皆様のお屋根にまつわる体験談・お勧めのカフェや奈良のお勧め情報なども随時募集しております。
まごひち瓦版は不定期発行です、バックナンバーは弊社ホームページでご覧いただけます。
かわら版の送付停止をご希望の方は編集部までご連絡下さい。ご連絡と発送が前後した場合は次号より停止させて頂きます。
〒636-0143 奈良県生駒郡斑鳩町神南3-13-13 孫七瓦工業(株) まごひち瓦版編集部
☎ 0745-74-1218 HP <https://www.magohichi.com>